

## 18 花常地区自主防災会（大治町）

### 多発犯罪対策自主防犯活動推進事業

#### 実施結果報告書

1 団体名	花常地区自主防災会
2 事業名	街頭犯罪撲滅活動、安心・安全な地域づくり事業
3 事業概要	<p>大治町は、名古屋市中村区の西側に隣接し、町内全域市街化区域で、名古屋市のベッドタウンとして宅地開発が年々進み、住宅も密集化してきている。昭和50年に町制が施行されて以来、着実に発展し続け、全国的に人口減少と少子高齢化が進む中、現在、人口は増大傾向にある。</p> <p>また、時代の変化とともに都市化が一層進む中、当地区は、大治町の中心に位置し、役場庁舎、交番、学校も近くにあり、日常生活が便利な一方で犯罪や交通事故等の増加が憂慮され、安全性の確保が重要な課題となっている。</p> <p>自主防犯・防災の重要性から、平成23年、有志による「花常歩き隊」を結成し夜間パトロールをスタートさせたが、平成27年4月に本格的な防犯・防災活動を行う組織体として「花常地区自主防災会」を立ち上げ、住みやすい犯罪のない明るいまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>この度、地域の防犯意識を高め、住民生活に直結する「住宅対象侵入盗」「振り込め詐欺」「自動車盗」被害の抑止を図るため、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ パトロール体制の強化</li><li>○ 住宅対象侵入盗、自動車盗の撲滅、振り込め詐欺を防止するための啓発イベントの企画・実施</li><li>○ 地区住民や店舗、企業と連携した防犯活動の実施</li></ul> <p>に取り組んだ。</p>
4 事業実施結果	<p>(1) パトロール体制の強化</p> <p>現行の月4回の夜間パトロール体制を常時月5回に強化するとともに、新たに拍子木を導入し、ベスト、帽子、警戒棒などパトロール資材を更新し、「見える」「聞こえる」活動を展開して防犯意識の高揚、犯罪抑止に努めた。</p> <p>※ 夜間パトロール：毎週土曜日の20時から約1時間実施（土曜日が4回の月は残り1回を休日に実施）</p>

ア 8月実施状況

- ・ 6日、11日、13日、20日及び27日に実施
- ・ 延べ34人参加

イ 9月実施状況

- ・ 3日、10日、17日、22日及び24日に実施
- ・ 延べ47人参加

ウ 10月実施状況

- ・ 1日、8日、15日、22日及び29日に実施
- ・ 延べ50人参加

エ 11月実施状況

- ・ 5日、12日、19日、23日及び26日に実施
- ・ 延べ48人参加

オ 12月実施状況

- ・ 3日、10日、17日、23日及び24日に実施  
(3日は消防団・婦人消防クラブ・子供会と連携した防犯・防災パトロールを実施)
- ・ 延べ48人参加



パトロール状況

(2) 住宅対象侵入盗、自動車盗の撲滅、振り込め詐欺を防止するための啓発イベントの企画・実施

地区住民を対象とした防犯講習会や街頭における防犯啓発イベントを実施し、防犯意識の高揚に努めた。

## ア 防犯キャンペーンの実施

- ・ 9月22日（木、秋分の日）10時から概ね1時間、ピアゴ大治店駐車場で実施
- ・ 来店客に対し、広報チラシ、啓発品（トイレットペーパー、ウェットティッシュ、侵入警報装置）を配布しながら、住宅対象侵入盗、振り込め詐欺等の被害防止に努めるよう呼び掛けた。



ピアゴ大治店での啓発活動状況

## イ 地区住民を対象とした防犯講習会等の開催

### (ア) 第1回

#### a 防犯講習会

- ・ 10月2日（日）10時から概ね50分間、地区集会所で開催
- ・ 講師 津島警察署生活安全係長
- ・ 内容 還付金等詐欺を始めとした特殊詐欺の被害状況と被害に遭わないための対応策について
- ・ 参加者 老人クラブ会員等地区住民60人



第1回防犯講習会状況

#### b 防犯啓発活動

- ・ 10月2日（日）10時から概ね90分間、地区集会所に隣接する八幡社境内で実施
- ・ 地区の秋祭りで参集した住民に対し、広報チラシ、啓発品（ウェットティッシュ、ポケットティッシュ、侵入警報装置）を配布しながら、住宅対象侵入盗、振り込め詐欺及び自動車盗

の被害防止に努めるよう呼び掛けた。

(イ) 第2回

a 防犯講習会

- ・ 12月16日(金) 10時から1時間、地区集会所で開催
- ・ 講師 津島警察署生活安全係長
- ・ 内容 侵入盗被害の現状と対応策等について
- ・ 参加者 老人クラブ会員等地区住民40人



第2回防犯講習会状況

b 防犯啓発活動

- ・ 12月16日(金) 13時から概ね70分間、八幡社境内で実施
- ・ 地区の防災訓練で参集した住民に対し、広報チラシ、啓発品(ウェットティッシュ、ポケットティッシュ、サッシストッパー)を配布しながら、住宅対象侵入盗、振り込め詐欺等の被害防止に努めるよう呼び掛けた。



啓発活動状況



防災訓練状況

ウ 町内ゴミゼロ運動に連動した防犯啓発活動

- ・ 10月23日(日) 8時30分から概ね1時間
- ・ 地区内ゴミ集積所3箇所で開催
- ・ ゴミゼロ運動参加者に啓発品を配布しながら、住宅対象侵入盗、振り込め詐欺及び自動車盗の被害防止に努めるよう呼び掛けた。



ゴミゼロ運動に連動した啓発活動状況

(3) 地区住民、企業と連携した防犯活動の実施

ア 企業と連携した特殊詐欺撲滅キャンペーン

- ・ 11月14日(月) 9時55分から概ね45分間、(株)中京銀行大治支店前で実施
- ・ 中京銀行と連携して、来行者等に対し啓発品(カードケース、トイレットペーパー、ポケットティッシュ)を配布しながら、還付金詐欺等を始めとした特殊詐欺の被害防止に努めるよう呼び掛けた。



中京銀行大治支店前での啓発活動状況



配布した各種啓発品

イ 地区住民と連携した防犯・防火パトロール

- ・ 12月3日(土) 19時から概ね50分間、地区消防団、婦人消防クラブ及び子供会と連携して実施
- ・ 参加人員8人(全体では74人)



防犯・防火パトロール状況

(4) その他の活動

ア 防犯のぼり旗等を活用した防犯広報の実施

防犯のぼり旗(桃太郎旗3種類「特別警戒実施中」「防犯パトロール実施中」「自転車・バイクを止めたらず鍵かけツーロック」15枚及び横幕3種類「振り込め詐欺注意」「特別警戒実施中」「車上狙いに注意」10枚)を地区内の要所(集会所、神社、ゴミ集積所、ピアゴ大治店駐車場等人目につき易い場所)に設置(適時設置箇所を移動)し、視覚に訴える防犯広報に努めた。



防犯のぼり旗の設置状況

イ 特殊詐欺電話多発に伴う緊急防犯広報の実施

11月中旬頃、町内の高齢者宅に還付金等詐欺と思われる電話が複数かかってきたことから、注意喚起文書を地区内の老人クラブ員宅に配布するとともに、町内掲示板にも掲出し被害防止に努めた。



町内掲示板を活用した広報活動

ウ 老人クラブ活動の場を活用した防犯啓発活動実施

12月18日(日) 地区老人クラブ「花常喜楽会」が開催した懇親会において、クラブ員である防災会会長が町内の還付金等詐欺、侵入盗被害の状況を説明し、被害防止に努めた。



花常喜楽会冒頭の防犯講話状況

<その他参考写真>



定例会議開催状況



購入資機材点検状況

<p>5 成果と課題 及び今後の取 組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>ア 成果</p> <p>「自分達の地域は自分達で守るんだ」という強い意識をもって5ヶ月弱、夜間パトロールなどに積極的に取り組んだが、9月下旬に一晩に侵入盗被害が4件(無施錠箇所から侵入された忍込み被害2件とガラス割りで侵入された事務所荒し被害が2件)発生し、有志による防犯活動の難しさ、限界を知らされた。</p> <p>しかし、その後の防犯講習会、街頭における啓発活動、のぼり旗による広報により、地域住民の防犯意識は以前よりは向上したと思われる。</p> <p>イ 課題</p> <p>(ア) 限られた有志による犯罪抑止・撲滅活動には限界があるので、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隊員を増強し、昼・夜活動可能な体制を確立する</li> <li>・ パトロール路線や活動時間帯を見直す</li> </ul> <p>などの対策をとる必要がある。</p> <p>(イ) 隊員の高齢化が進んでおり、後継者の確保、育成が必要である。</p> <p>(ウ) 超高齢化社会の到来、独居老人の増加により、被害(災)弱者といわれるお年寄りの防犯に対する認識が低下してきているので、防犯講習会を定期的で開催したり、独居老人宅を随時訪問するなどの啓発活動を推進していく必要がある。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>ア 更なるパトロール体制の充実、強化に努める。</p> <p>イ 防犯教育の充実徹底を図り、防犯意識レベルの更なる向上に努める。</p> <p>ウ 後継者の確保、育成に努める。</p> <p>などソフト面、ハード面での対策を推進し、地域の安全・安心のために、地域住民と連携した防犯活動を継続実施していきたい。</p>
----------------------------------	--